

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	ヤマリョー株式会社
実習期間	平成 30年2月21日 ～ 平成 30年3月13日
学生氏名	村上 蓮
実習プログラム	一般インターンシップ…給油所事業、営業所に携わるという事で、ENEOS のガソリンスタンドの従業員の方々の仕事を体験、さらには山形営業所での営業の仕事風景を拝見させていただく形で体験させてもらった。 社長インターンシップ…代表取締役の金山社長の鞆持ちちとして活動する、社長の側に付いて回るとい形で社長の仕事を体験する実習を行った。
学び・気づき (300字程度)	「仕事」とは何か、社長はどんな仕事をしているのかを学ぶインターンシップであったが、仕事とは相手が居ないと始まらず、またどの様な仕事も誰かのためになっているものだと気づくことが出来た。社長に関しては私の中でイメージがあって重要な書類を管理し、社員に指示を出すだけなのだと思い込んでいた。しかし、実際には社員並みに動き、日々尽力して仕事に取り組んでいる役職なのだということが気づいた。他にも私が学んだのは会社には社長が社員へ、社員がお客様への繋がりを築き上げ、大きな流れとなって会社の社風やモチベーション、評判を作り上げているのだという事だ。社長一人ではなく社員あってこそ会社であると学んだ。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	インターンシップ中は移動が多く、切り替えの早さも求められていたが、私は切り替えが遅い事があったため、この部分をしっかりと直していきたい。また、コミュニケーション力や発信力も声が小さく、質問内容を緊張して忘れてしまっていたこともあったので自信を持つことを意識して生活していきたい。 さらには、入社時間ギリギリで到着して準備をしっかりと出来てなかったこと、私自身マイペースな所があるので常に時間を気にしながら物事に取り組めるようにしていきたい。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	ヤマリョーはまさしく社長一人で会社を作っているのではなく、全員で構成されてこそ会社であったと思う。社員の方に社長がどんな方なのかと聞くと「社長の様な風格が無い、オーラが無い」と言われており、最初は社長インターンシップでは大丈夫なのかと考えたこともあった。しかし、社長が社員に談笑をして自ら社員に関わっていく場面や、絶え間なく動く姿を見て社員の様な社長だと感じた。だからこそ親しみやすい意味で社長の風格がないのかもしれないと思った。また、ガソリンスタンドや営業所ではお客様に対する自然な気遣い、一人一人に合う対応、購入した後の親切なサービスをしている所が素晴らしいと感じた。それに感謝しているお客様を見ると私もうれしくなったのは記憶に残っている。

写真 (1~3点)

